

あざれあ図書室から

“働く”を考える ⑦ パワハラ



『知っていますか？パワー・ハラスメント
一問一答：職場のいじめ 第2版』

(金子雅臣/著 解放出版社 2009年)

パワハラはなぜ起こるのか、パワハラを受けたらどうしたらよいか、などを一問一答式で解説。巻末では、参考図書や相談機関を紹介。パワハラ初心者向けの本です。



『女性とパワーハラスメント
：なぜ起きる、どう対処する』

(NPO法人ウィメンズ・サポート・オフィス連/著 フェミックス 2008年)

2007年に行われたパワーハラスメント講座を基にした本。パワハラとは何か、どう支援したらよいかなどを学べます。パワハラが人権問題であることに気づく一冊です。



『上司殿！それは、パワハラです！』

(岡田康子/著 日本経済新聞社 2005年)

それぞれのケースからパワハラかそうでないかを説明します。またパワハラを起こさないようにコミュニケーション方法や自己チェックを紹介。部下を持ったら読んで欲しい一冊。

図書室利用案内

貸出・返却

- 借りる：図書5冊、ビデオ・DVD2本
- 返す：カウンター、図書室開室時間外は返却ポスト（ビデオ・DVDは不可）、郵送（送料は利用者負担）



予約

- 予約：カウンター、インターネットどちらでも。インターネットからの予約には、事前に図書室に来室してパスワード登録する必要があります。

開室は？

- 開室時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00
土曜日・日曜日・祝日 9:00～17:00
- 休室日：第1・3・5日曜日、図書整理日、年末年始
- 直通電話：054-255-8763 / FAX：054-255-8759
E-mail：library@azarea.pref.shizuoka.jp

あざれあ図書室 検索

エポカ・メルマガ

epocaml@azarea.pref.shizuoka.jp
上記アドレスに空メールをお送りください。
あざれあで開催される講座・イベントの情報、図書室の最新図書情報等をあなたのパソコンにいち早くお知らせします。携帯への送付もできます。右のQRコードを読み取り、空メールをお送り下さい。



会議室の予約

- 開館時間
9:00-21:00(月～土)
9:00-17:00(日・祝日)
- 休館日
第1、第3、第5日曜日、12/27～1/5
- 会議室予約は…
一般：半年前から
登録団体：9ヶ月前から
TEL 054-255-8440

私のとっておき 第8回



エリカ 奇跡のいのち

講談社

(ルース・バンダー・ジー/文
ロベルト・インノチェンティ/絵 柳田邦男/訳)



私は子どもと親子読書に参加したのを機に、親子読書・読み聞かせ活動に関わって30年になります。そんな私に「大人こそ絵本を」というキャンペーンを続けているノンフィクション作家柳田邦男の「絵本はユーモア・悲しみ・思いやり等生きていく上で大事な事を深く気づかせてくれる」というメッセージはとても嬉しいものです。柳田邦男訳の「エリカ 奇跡のいのち」は、第2次世界大戦中のドイツでのユダヤ人大量虐殺事件を題材にした絵本です。強制収容所へ向かう貨車、それは死へ向かう貨車です。

その中で、母親は抱いていた我が子を外にほうり投げたのです。両親は死の道へ、赤ちゃんは生の道へと分れました。その赤ちゃんが「エリカ」です。エリカは21歳で結婚し、3人の子どもが生まれ、孫もいます。「いま、私の家族の樹は、再び根をはり、大きく育っています」とエリカは言う。エリカが生を得たのは親の愛情でしょうか。私は大いなる親の決断だと思ふのです。命の尊厳への決断だったと思ふのです。

(NPO法人あざれあ交流
会議理事 長野蝶子)

あざれあ相談

●悩んだとき、困ったときには「あざれあ」がある●

あざれあ相談 利用案内

●女性相談 すべて女性スタッフによる相談です
安心してご相談ください

- 電話相談
月・火・木・金(祝日、年末年始を除く) 9:00～16:00
水(祝日、年末年始を除く) 14:00～20:00
毎月第2土(祝日、年末年始を除く) 13:00～18:00

賀茂 0558(23)7879 東部 055(925)7879
中部 054(272)7879 西部 053(456)7879
(すべて「あざれあ」に転送されます)

●予約制による専門相談：面接または電話による相談
※まずは電話相談におかけください

- ◆弁護士相談(離婚・相続等)
第1・第3火曜日 13:00～16:00
- ◆精神科医相談
・心身の不調等 奇数月第3金曜日 13:00～16:00
・DVとその他暴力 偶数月第4火曜日 13:00～16:00
- ◆面接相談 毎月 月・木曜日 10:00～15:00
水曜日 14:00～19:00

男性相談

●電話相談のみ/生き方、家庭、仕事、健康等
毎月第3土曜日 13:00～17:00

TEL 054-272-7880

チャレンジ相談

●再就職、転職、起業、キャリアアップ、地域活動等
毎月2回程度(水曜日・土曜日) 託児有り 要予約

TEL 054-221-2824



epoca

エポカ

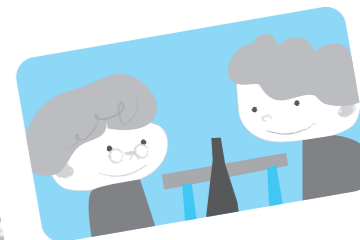
Vol.85
2010.8

あざれあ メッセ 2010 ● 多数のご来場ありがとうございました。

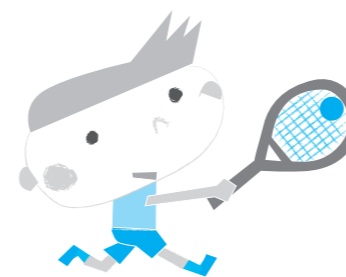
7/24



作文受賞者：山本菜月さん



作文受賞者：鈴木葵さん



男女共同参画担当 市町の職員元気です！

市民のニーズをすくいあげる



湖西市地域振興課
自治共生係
男女共同参画担当
大平左和子さん

市役所に入って8年目、今年4月に男女共同参画担当になりました。湖西市ではこれまで年1回「湖西・女と男のフォーラム」と銘打った男女共同参画イベントで、銭太鼓、フラダンス、講演などの催しを市民参加で催していました。今年度、フォーラムを企画・実施している実行委員の皆様から、今までのスタイルを思い切ってリニューアルしたいとお申し出がありました。実行委員会を構成する湖西市女性団体交流会議は14団体からなり、設立15年目になります。15年の間に世代交替が進んだところや、会員の入れ替わりがあったところもあります。この3月、新居町との合併もありました。まず市民同士が知り合うことから始めたい、会員同士、今まで以上に情報交換し、お互いに困

湖西市

ていることを打ち明けあい、協働の形を探りたいということでした。なんとか市民のニーズをすくいあげていきたいと考えていた私たちも大賛成でした。年一度のお祭りスタイルから、たとえば子育て世代向け、たとえば団塊世代向けといったように、ターゲットに合った内容、日時、会場をきめ細かく設定したセミナー・イベントを、何度かに分けて実施することになりました。また、今年度は「輝く未来を…女と男のプラン湖西」の見直しの時期にきているので、市民アンケートを実施し、課題を洗い直し、分析していくことにも力を入れています。時代に即した男女共同参画施策を市民と手を携えて進めていきたいと思ひます。

静岡県男女共同参画センター

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

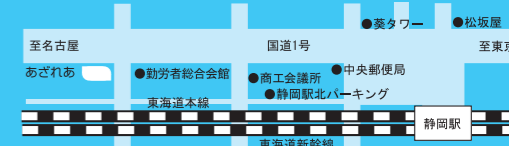
TEL/054-250-8147 FAX/054-251-5085

会議室予約専用 TEL/054-255-8440

ホームページ <http://azarea.pref.shizuoka.jp>

Eメール epoca@azarea.pref.shizuoka.jp

編集・発行/あざれあ交流会議グループ



男女共同参画課から

静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞 平成22年度受賞者

静岡県では「静岡県男女共同参画推進条例」に基づき、男女共同参画の推進に関する取組を積極的に行っている個人・団体・宣言事業所の皆さんや、チャレンジした個人・団体を毎年表彰しています。

個人・団体の部 (部門ごと五十音順・敬称略)
 小山町連合婦人会 (小山町)
 きらり交流会議 (富士市)
 富士駅前通り商店街振興組合 (富士宮市)
 富士宮市地域女性連絡会 (富士宮市)

宣言事業所の部
 ジヤトコ株式会社 (富士市)
 沼津東急ホテル (沼津市)
 株式会社リコー 沼津事業所 (沼津市)
 株式会社 レ・サンク (静岡市)

●表彰式●
 2010年
 7月22日(木)
 県庁知事室

チャレンジの部
 豊田由美 (「ちやの生」(ちやのき)代表) (富士市)
 久田真奈子 (子育て支援活動「プレイグループなめり」主宰) (長泉町)
 古川睦子 (静岡赤十字病院看護師) (静岡市)



▶▶▶▶ 静岡県男女共同参画課では静岡県男女共同参画社会づくり宣言事業所を募集しています 問合せ: TEL 054-221-3122

少人数で・全国シェア・男女共同参画社会づくり宣言をした”オンリー・ワン”の会社

株式会社ヨロズヤは、一般・産業廃棄物処理・環境製品・臭い消し製品の販売などを行っています。社員は、男性4名と女性1名、役員の大野研社長と妻の和子さんの計7人の会社です。全国を営業等で回る社長のかたわら、和子さんは旧姓の佐藤を名乗り、女性社員と事務所を任されています。

男性社員たちは主に三島市・清水町のゴミの収集や産業廃棄物の処理などを行っています。

男女共同参画社会づくり宣言をしたきっかけは「宣言することで、社員みんなの意識が変わるのではないか」と思い、女性社員が社長に要望したことからです。

取り組み内容は「一人では何もできない」~男女を問わず、刺激し合い、協力できる、働きやすい環境づくり。ヨロズヤの取引先は全国にあるため、一人ひとりが責任ある仕事をしないといけません。そこで、社員が一丸となって意識をひとつにして仕事をしようという、強い気持ちがかめられています。

2人の女性社員は、宣言をしてから社員全員が、確かに変わってきたといえます。

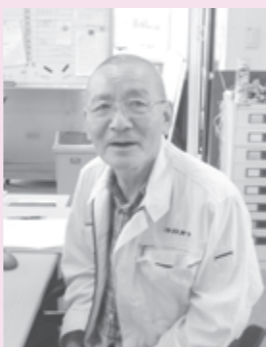
「宣言」をして、公にすることの効果を実感しました。また、大野さんは「全国を飛び回って1週間ぐらい会社を留守にすることもあります。いちいち指示を出さずとも、会社を

安心して社員に任せられ、会社のことを気にしなくて済むことで、とても気持ち楽になりました。これがとても大きな変化です」と、ここでも「宣言する」ことの効果を知りました。

会社がこれからも力を入れていく仕事が、環境を考えた生ゴミ処理でCO2ゼロの「生ゴミ処理システム・トラッシュ」の販売。これは、地球の自然環境を守り次世代につなげるための1つの手段です。また、一人ひとりががんばる「オンリー・ワン」の会社ですと、大野さんは力をこめて話していました。

会社の電話の保留時に流れる音楽が「世界に一つだけの花」でした。

(取材: あざれあ 交流会議副代表理事 大川須津子)



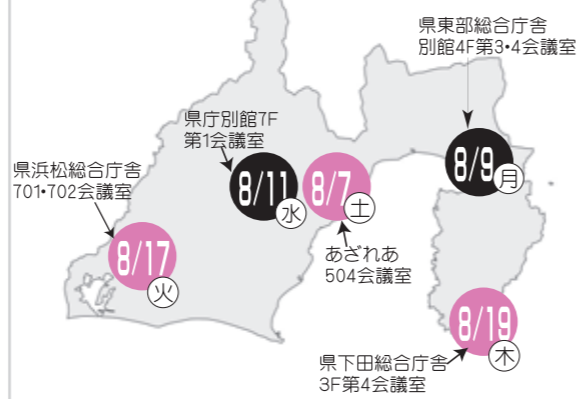
大野 研 社長

男女共同参画社会づくり宣言事業所

株式会社 ヨロズヤ
 〒411-0821 三島市平田151-1
 TEL055-972-7777
 http://www.yorozu.co.jp/

問合せ先 静岡県男女共同参画課
 TEL: 054-221-3363

タウン・ミーティング



定員/各回20人 時間/各回13:30~15:00
 申込み/問合せ/県男女共同参画課 TEL054-221-3363
 内容/第2次静岡県男女共同参画基本計画について

終了した講座 平成22年6月12日、7月10日実施 男性のためのコミュニケーションセミナー



講師の濱田智崇さんは学生時代から男性専用電話相談「男」悩みのホットライン」に関わっています。出席者からは「グループワークを通して、人から見た自分を知ること、自分のことがもっとわかるようになったと思います」という感想が寄せられました。

あざれあで行われる講座・セミナー

ホームページもどうぞ あざれあ 検索

成功事例から学ぶ 女性起業家スタートアップセミナー

9/10金 「起業という生き方」
 起業支援のカリスマ 小出宗昭さん 講演会
 18:30-20:30 なぜ起業の道を選ぶのか セールスポイントを事業にどう活かすか 事例紹介 など
 講師: 小出宗昭さん (富士市産業支援センターf-Bizセンター長)

9/25土 13:30-16:00
 講師: 園田正世さん 佐藤真琴さん 香山千賀さん

注目の女性起業家によるトークセッション
 コーディネーター: 小出宗昭さん
 パネリスト: 佐藤真琴さん (一般社団法人 ピア 代表理事) 園田正世さん (北極しろくま堂 有限会社 代表取締役) 香山千賀さん (株式会社 デュナミス 代表取締役)

- ◆会場: あざれあ501会議室(9/10)、大会議室(9/25)
- ◆対象: 起業したいと考えている、または起業して間もない県内在住の女性
- ◆託児: 無料・先着15名まで(1歳半以上~就学前 要予約)
- ◆申込み方法: ①氏名 ②住所 ③年齢 ④電話番号 ⑤職業 ⑥託児の希望の有無 ⑦起業に向けての現在の状況 ⑧目指す起業の分野 を電話、FAX、Eメールのいずれかで 静岡県男女共同参画課 TEL 054-221-2824 FAX 054-221-2941 E-mail info@azarea.pref.shizuoka.jp
- ◆申込み先

あざれあメンズ・セミナー

読書会のススメ
 料理をするように本を読む。 8/21(土)15:00~18:00 あざれあ生活関連実習室
 泳ぐように本の世界を遊ぶ。 9/11(土)15:00~18:00 あざれあ図書室
 茶碗を愛でるように本を鑑賞する。 9/18(土)15:00~18:00 あざれあ茶室

講師: 平野雅彦さん (静岡大学客員教授)

対象: 静岡県在住、在勤、在学の中学生以上の男性
 インターネット閲覧のできる環境をお持ちの方
 託児: 無料・先着15名まで(1歳半以上~就学前 要予約)
 申込み先: NPO法人 あざれあ交流会議 TEL 054-250-8147 FAX 054-251-5085 E-mail kouryuukaigi3@suruga.tnc.ne.jp

ふじのくに・私の思い



最優秀賞 鈴木 葵(浜松市中区)
 優秀賞 大村清美(藤枝市) 藤井康子(掛川市)
 佳作 佐藤幸子(静岡市清水区) 杉山節子(静岡市駿河区) 中島富美枝(浜松市北区)
 審査員特別賞 山本菜月(浜松市北区)

住んでよし、訪れてよし 鈴木 葵 (浜松市)

「爺ちゃん婆ちゃんに育てられた子は、心の優しい子になる」いつだったろうか。こんなことをどこかで聞いたことがあった。
 「爺ちゃん婆ちゃんに育てられた」私が「優しい子」に育ったかどうかはさておき、祖父、父母、姉という三代に囲まれた幼少時代は今考えると、大変恵まれた環境であった。両親が共働きであったため、私は0歳から保育園に預けられてきた。小学校にあがると下校後は学童保育に通い、家に帰るといつも「爺ちゃん婆ちゃん」がそこにはいた。そして私は夕方、母が帰宅するまでの間、時代劇や相撲などをよく一緒に見られた。爺ちゃん婆ちゃんと同居していたため、俗にいう「カギっ子」にはならなかったからこそ、母も安心して働きに出られたのだと思う。そのため、幼少時代、両親が共働きだったため、淋しい思いをしたことは一度もない。また、爺ちゃん婆ちゃんにとっても、「孫の私」と同居は良かったのではないと思う。よ

く一緒に「近所さんを散歩したり、おつかいを頼まれたりしたものだ。」「子育て」は一人で抱え込んでしまうと大変だとよく聞く。母親が子供と離れて精神的に休まる時間が少しでもあれば、子育てにおける母親のみにかかる負担は軽減されるのではなかろうか。そこで今後、ふじのくにには、地域ぐるみでの保育が重要になってくる。考える。ここでは、地域内の信頼関係が大前提とならなければならぬ。老夫婦の元に我が子を預けるシステムを作るとはどうか。一時的でもいい。核家族の母親が近所の信頼のおける老夫婦に自分の子供を預けるのである。まだまだ働けるのに、定年や早期退職などで、毎日が日曜日、の熟業者は山い。この様な熟業者達を有効活用するために子供と接することのできる時間を作るのが重要になってくるのではないかと考える。地域ぐるみで、年寄りと子供達との交流の場を作るのである。「里親制度」ならぬ「里祖母制度」である。このシステムに

地域通貨などを取り入れるのももしろいかと思う。また、今でこそ宅地化が進んで浜松の街に近い土地では、畑も少なくなりましたが、畑の虫や植物、草までもが子供達にとっては大事な遊び道具である。浜松も少し車道を離れば、そこは畑(土)の沢山ある田園風景が広がる。そういった地域の老人と街の子供との交流も大事になると考える。身内ではなくとも「子供」は「子供」である。そこに住む熟業者達が子供達に「農業などで汚れていい大地で伸び伸びと遊んでもいい」と考えるようにになれば、それである。この「街(子供達)」と、田舎(熟業者)の交流事業は環境保全にも繋がってゆくであろう。

ボーイスカウト 国際キャンプ大会
 第15回 日本ジャンボリー
 富士宮市朝霧高原 http://www.15nj.org/
 8/2月 → 8/8日
 第15回日本ジャンボリーは、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟が主催する国際キャンプ大会です。ボーイスカウト以外も参加・見学ができます。詳しくはホームページをご覧ください。

